

役割とあゆみ

上下水道の役割

上下水道は市民生活にとってなくてはならないものであり、同時に都市の活動などを維持するために重要な施設です。

上下水道は公衆衛生^{*}の向上や豊富低廉^{*}な水の供給、浸水防除^{*}などの役割を担ってきました。

さらに、時代の移りかわりや社会情勢の動向により、その役割の幅を広げ、安全でおいしい水の安定供給や公共用水域^{*}の水質保全、水循環の創出などの役割も担っています。

本市の上下水道は建設の時代から維持管理、更新、改良時代へと移る中、上下水道が連携し、その役割を果たすとともに、次の世代に向けた新たな役割に取り組んでいます。

水道の歩み

本市の水道は、昭和7年3月に当時の布施町で給水を開始しました。

昭和42年2月東大阪市誕生後も、市勢の発展に伴う人口の増加や生活様式の多様化などによる水需要の増大に対応するため、拡張事業をはじめ配水施設整備事業、配水管更生事業等を実施し、普及率99.9%を達成、現在に至ります。



● 昭和42年 菱屋西浄水場

下水道の歩み

本市の下水道は、昭和24年に当時の布施市において事業に着手しました。

下水道事業は、市の重点施策として位置づけられ順次区域を拡大し、また環境改善、水洗化の普及に努めるとともに、雨水排水対策の推進などに努め、普及率99%を達成、現在に至ります。



● 昭和33年 八戸ノ里駅周辺 浸水被害状況



● 配水管理センター



● 池島配水場



● 拠点給水所

上下水道の役割の広がり

水道事業

公衆衛生^{*}の向上

豊富低廉^{*}な水の供給

安全でおいしく、安定した水の供給

下水道事業

公衆衛生^{*}の向上

浸水防除^{*}

便所の水洗化

公共用水域^{*}の水質保全

下水道資源等の有効利用

水循環・水環境の創出

「下水道」から「循環のみち」へ



● 昭和58年 浸水被害状況 (八戸ノ里駅前)

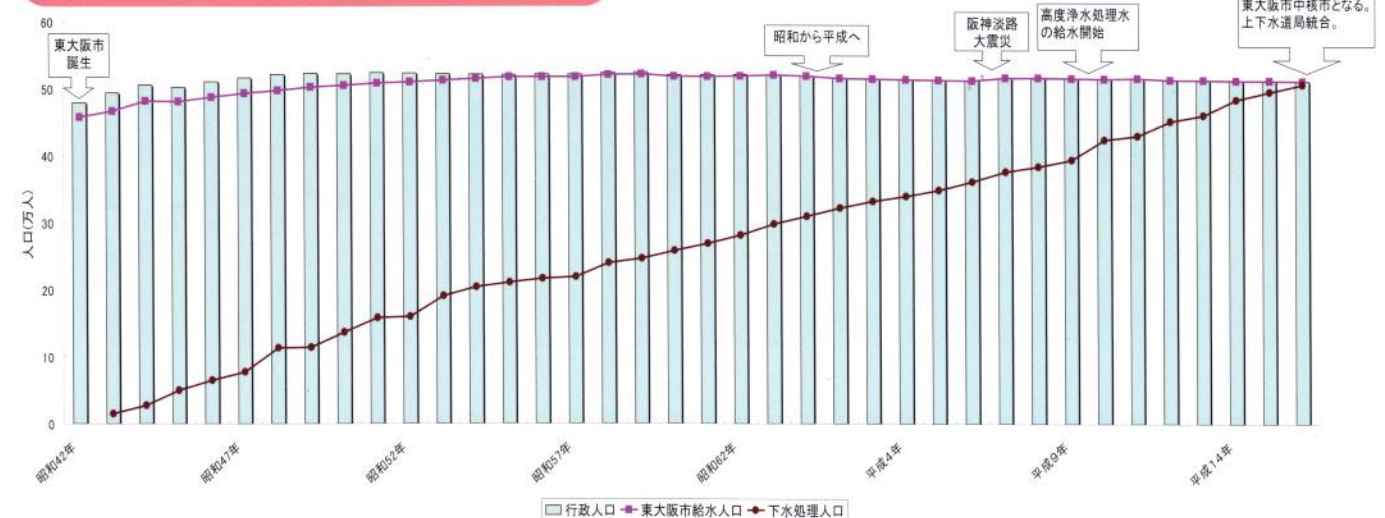


● 八戸の里雨水貯留施設



● 川俣水みらいセンター

給水・下水処理人口の推移



用語説明

■公共用水域

川、湖沼、港湾、海域など不特定多数の人に共有される水域のことです。

■公衆衛生

人々の健康の保持・増進をはかり、疾病を予防するため、衛生環境の改善や感染症の予防などを行うことです。

■浸水防除

浸水を防ぎ、被害を取り除くことです。

■豊富低廉

たくさんあり、安価であることです。